

2017年6月26日

社員参加型プロジェクト「2017年度サステナブルツリー」開始 ～未来に向けて！社会とつながるSDGs～

住友化学は、本日から100日間、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」をテーマとした社内投稿プロジェクト「2017年度サステナブルツリー」を実施いたします。

「サステナブルツリー」は、国内外の住友化学グループ役職員一人一人が、「業務を通じて持続可能な社会の実現に向けてどのように貢献できるか」を考え、専用ウェブサイトにて投稿する社員参加型の取り組みです。初めて実施した昨年度は、業務に加えて、社会貢献活動や日常生活も対象とし、世界中のグループ社員から6,000件を超える投稿が寄せられました。

SDGsは、世界が取り組むべき17の目標を示し、事業活動を通じて持続可能な社会の構築を前進させるよう世界の企業に呼びかけています。住友の事業精神である「自利利他 公私一如」（事業は自身を利するとともに社会を利するものでなければならない、とする考え方をDNAとする住友化学は、このSDGsの方針に共感し、グループ全体で貢献していくことを2016年度に決定しました。現在、「サステナブルツリー」のほか、温暖化対策や環境負荷低減などに貢献する当社製品や技術の開発・普及を促進するための認定制度「スマカ・サステナブル・ソリューション」にも取り組んでいます。

住友化学グループは、持続可能な社会の実現に向けて、一人一人が創造力を最大限に発揮し、化学の総合力でさらなる新しい価値創造に向けて挑戦してまいります。

<昨年度の「サステナブルツリー」投稿例>

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



化学業界は、資源問題・エネルギー問題・気候変動に代表される地球規模の課題に対してどのような貢献ができるでしょうか。本質的な課題解決は、化学の無限の可能性を信じる私たちが、技術革新を先導することだと思えます。高い志を持ち続け、社内外の同志たちとともに、このチャレンジングな技術革新を具現化できるよう行動します。

2 気候をゼロに



優れた農業を開発・上市することを通じて、単位面積あたりの収穫量を増大させ、世界の食料生産に貢献していきたい。

<SDGsの17目標>



<住友化学のSDGsへの取り組み>

<http://www.sumitomo-chem.co.jp/csr/management/sdgs/>

以上